

平成30年6月1日(日本歯科大学創立112周年記念日) 首相公邸夕食会  
 安倍晋三首相、左・中原 泉 理事長・学長  
 後ろ右・堀 憲郎 日本歯科医師会長、左・高橋英登 日本歯科医師連盟会長  
 本学からは、三代冬彦病院長、三ッ林裕巳副院長、口腔外科の小林隆太郎教授が出席

# 日本歯科大学新聞

## 本学創立112周年記念

### 四百余名が式典参列

本学の創立一一二周年記念式典は、六月一日の創立記念日に東京・富士見で挙行された。オーストラリア・アデレード大学のグラント・タウンゼント教授への名誉博士号授与式も併せて行われた。卒業五十年・二十五年創立記念式典特別参列制度(ジュビリー5025)から多数の校友が参列した。午後からは創立記念祝賀会が、近くのホテルメトロポリタンエドモントで開催された(関連記事二・三面)

日本歯科大学創立一一二周年記念式典は、定刻午前十時三十分、高橋孝幸事務部長が開式を宣し、築土神社の神職による神事が執り行われた。本学の一一二年にわたる歴史が祝詞の中で朗々と奏上され、中原泉理事長・学長が神前に進み出て、玉串を奉奠すると参列者は二礼二拍手一礼をもって同拝した。神事を終えて神職が退場、壇上を整備したのち、中原理事長・学長は、創立一一二周年記念式典に立ち会えた喜びを語った。次いで近藤勝洪校友会長が挨拶を述べ、名誉博士号授与式に移った。中原学長がオーストラリア・アデレード大学のグラント・タウンゼント先生の業績を紹介し、病中のため代理で出席した子息のアダム・タウンゼント氏に、日本歯科大学第二十一号の名誉博士号の学位記が手渡された。次に永年勤続者表彰に移り、三十年勤続五名、二十年勤続十五名が壇上に表彰状が授与された。表彰者を代表し大熊一夫准教授(新潟・理工)が謝辞を述べた。おわりに列席した名誉教授が紹介され、全員で校歌を斉唱し、十一時五十分閉式した。式典終了後、学内施設の見学会が行われ、午後一時からホテルメトロポリタンエドモント「悠久の間」で、創立一一二周年記念祝賀会を催した。

#### 平成29年度ベストレクチャー賞

- 【生命歯学部】
- 1位 スポーツ歯学/2年前期  
歯科補綴学第二講座教授 五味治徳
  - 2位 医療管理学/1年前期  
附属病院口腔外科教授 小林隆太郎
  - 3位 医療安全/1年後期  
歯学教育支援センター准教授 安藤文人
- 【新潟生命歯学部】
- 1位 6年授業(小児歯科)/6年後期  
新潟病院小児歯科講師 三瓶伸也
  - 2位 材料科学/1年後期  
物理学准教授 小野裕明
  - 3位 部分床義歯補綴学/3年後期  
歯科補綴学第一講座准教授 水橋 史
- 平成30年6月1日 本学

東京千代田区富士見  
 日本歯科大学新聞会  
 発行兼 中原 泉  
 編集人  
 発行日 偶数月末日  
 定価 1部10円  
 編集室 (〒951-8580)  
 新潟市中央区浜浦町1-8  
 ☎ 025 (267) 1500







日本歯科大学校友会  
会長 近藤勝洪



中原市五郎先生によって明治四十年、一九〇七年に日本歯科大学が創立されて一十二年になる。この間、幾多の災害、また戦災があつたが、日本歯科大学はそれを克服し、今日も発展を続けている。一十二年の歴史、歯

科医師を養成する機関としての素晴らしさはもちろんだが、一方で過去から現在、多くの優秀な人材を歯科界に提供し続けてきた。後輩の先生もぜひこれに倣って、受け継いでいくという気持ちをもつていただきたい。

ご理解をいただき、スタートさせることができた。ぜひ先生方には学内の施設を見学され、母校の素晴らしさを堪能していただければと思つている。校友会では現在、東京と新潟の短期大学の卒業生を、なんらかのかたちでとりいれることを検討している。オール日本歯科大学という考えから短大の歯科衛生学科、歯科技工学科の卒業生のみならず、日本歯科大学校友会の一員として迎えられるよう努力しているところだ。

日本歯科大学は他の歯科大学とどこが違うか、それは他のどの大学も真似できない先見性と強いリーダーシップをもった指導者のもとにあるからだ。これが発展の原動力になっていると私は確信している。日本歯科大学校友会九千人の会員は母校とともにあるということとを誓い、ご挨拶とする。

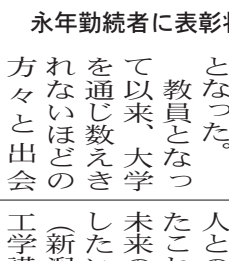
永年勤続表彰者  
代表謝辞  
学生時代の六年と大学院四年間を加えると計

四十年、人生の半分以上を日本歯科大学で過ごしていることに私自身驚いている。私は三十年前、東京校で社会人生活をスタートした。新潟に移つたのは今から十二年前のことだ。表彰は身に余る

光栄で、この三十年を振り返るよい機会となった。教員となつて以来、大学を通じて数えきれないほどの方々との出会い、先輩たち

とあるいは同輩や後輩のみなさん方から多くのことを教わり、さまざまな経験を積んだ。今年三月に渡米した際にも、現在の歯科材料のことのみならず、将来の患者さんがワクワクするような材料の

開発について教えていただき、大変有意義な時間をすごせた。これからも人との絆を大切に、またこれから起こる新しい未来の材料の開発を期待したいと思う。



永年勤続者に表彰状授与



開宴にあたり中原理事長・学長が挨拶を述べた

日本歯科大学創立一十二年記念式典祝賀会は、午後一時よりホテルメトロポリタンエドモント「悠久の間」で開催された。

開宴にあたり中原理事長・学長は「本日はジュビリーの五十七回、八十二回の方がたにお集まりいただいた。さきほどから頭にあつたのは、私の妹の中原リザ子

が五十七回で、矯正の教授だった。亡くなった新潟の理工の小倉英夫君も同じ五十七回で、彼らが天国から今日の祝賀会を見ていたのかなと、そんな気持ちでいた。私が五十四回なので、五十七回の先生方は、見覚えのある顔もあるし、全く見覚えのない方もおられる。一方、八十二回となると東京と新潟の二つの

学部なので、なかなか個人の顔を思い出すことができない。しかしこうやってお会いできたことを大変嬉しく思っている」と述べた。

次いで近藤校友会会長が乾杯の発声に立ち、「今日は一十二年記念式典で、永年勤続二十名の方が表彰され、名誉教授の先生がたもたくさんおいでになった。ジュビリーの先生は五十七回と八十二回で二十五も年の差があるが、母校を中心にせっかくの機会であるので、互いに語りあつて素晴らしい会にしていただきたいと思う」と述べ、参会者一同が乾杯した。

なごやかに歓談が続く中、あちこちで同級生同士の間が広がる。三ツ林裕巳附属病院副院長の挨拶、藤井一維新潟生命歯学部部長の中締めで閉宴した。

日本歯科大学創立一十二年記念式典祝賀会

ジュビリー5025全員集合！左は57回卒、右は82回卒の校友会員

日本歯科大学創立一十二年記念式典祝賀会は、午後一時よりホテルメトロポリタンエドモント「悠久の間」で開催された。

開宴にあたり中原理事長・学長は「本日はジュビリーの五十七回、八十二回の方がたにお集まりいただいた。さきほどから頭にあつたのは、私の妹の中原リザ子

が五十七回で、矯正の教授だった。亡くなった新潟の理工の小倉英夫君も同じ五十七回で、彼らが天国から今日の祝賀会を見ていたのかなと、そんな気持ちでいた。私が五十四回なので、五十七回の先生方は、見覚えのある顔もあるし、全く見覚えのない方もおられる。一方、八十二回となると東京と新潟の二つの

学部なので、なかなか個人の顔を思い出すことができない。しかしこうやってお会いできたことを大変嬉しく思っている」と述べた。

次いで近藤校友会会長が乾杯の発声に立ち、「今日は一十二年記念式典で、永年勤続二十名の方が表彰され、名誉教授の先生がたもたくさんおいでになった。ジュビリーの先生は五十七回と八十二回で二十五も年の差があるが、母校を中心にせっかくの機会であるので、互いに語りあつて素晴らしい会にしていただきたいと思う」と述べ、参会者一同が乾杯した。

なごやかに歓談が続く中、あちこちで同級生同士の間が広がる。三ツ林裕巳附属病院副院長の挨拶、藤井一維新潟生命歯学部部長の中締めで閉宴した。

日本歯科大学創立一十二年記念式典祝賀会

ジュビリー5025全員集合！左は57回卒、右は82回卒の校友会員

日本歯科大学創立一十二年記念式典祝賀会

ジュビリー5025全員集合！左は57回卒、右は82回卒の校友会員

第82回卒業式を挙行
両学部20名が集立つ
卒業証書一六二〇号に

第57回卒業式挙行
築立ちゆく日歯大卒業生
歯科医師としての責任を

卒業時の本紙コピーを贈る
ジュビリー参加者に
桑野結香(耳鼻咽喉科学)
永井政義(用度営繕部)



# 浮世絵と西洋版画にみる歯磨きと口もと



## 9月11日(火)~17日(月・祝) 医の博物館30周年記念展

新潟の医の博物館は、平成元年九月に開館して本年で三十年を迎えることから、九月十一日(火)より十七日(月・祝)までの一週間、特別展「浮世絵と西洋版画にみる歯磨きと口もと」(仮題)を開催することになった。

本学医の博物館や神奈川県歯科医師会・歯の博物館で所蔵する浮世絵や西洋版画などを、新潟キャンパスの八号館特設会場において一般公開する。

江戸時代から明治にかけて、浮世絵師たちは女性が歯を磨いているところ、化粧する姿などを好んで題材にした。またヨーロッパでも未だ麻酔が普及しない時代、歯痛

で苦しんだり、抜歯する諷刺画が描かれ、銅版や木版、リトグラフなどの版画が多数印刷された。上の図版左は、歌川国貞「見立十二万気候 爵入大水為蛤(すずめ大水)に入りてハマグリとなる」で、お歯黒する女性を描いている。右は、フランスのドミエ「なめて頑固な歯だ」で、下に描かれているのは抜かれた臼歯や、当時の抜歯器具の「歯鍵」。



シリントーン王女殿下と外国からの賓客 (マヒドン大学歯学部附属病院1階ロビー) マヒドン大学提供 (上写真も): タイでは王室の方々の記念撮影は一般人に許可されていない



羽村・渡邊教授が列席  
マヒドン大学歯学部創立50周年

本学の姉妹校であるタイ・バンコクのマヒドン大学歯学部は創立五十周年を迎え、六月六日・七日の両日、創立五十周年記念式典が開催された。生命歯学部からは羽村章前歯学部長、新潟生命歯学部からは、藤井一維歯学部長の代理として筆者が出席した。



王女殿下に拝謁する筆者

の延世大 学、慶熙大 学、ミャン マー、ベト ナム、ラオ ス等の国々 の大学歯学 部長らが出 席し、記念 式典と併わ せて特別講 演やシンポ ジウムが開 催された。

午前九時からの特別講演では、「Digital technology in Education」の演題でペンシルベニア大学の歯学部長 Prof. Dr. Denis Kinaneが、「Natural smile vs photo smile」の演題で、トルコの Asst. Prof. Dr. Cugdas Kisaoglu が講

午後三時よりパネリストとしてトルコの Asst. Prof. Dr. Cugdas Kisaoglu が「Clinical application」について講演した。

午後五時からは病院の八階で歓迎のレセプションが開催された。タイの民族舞踊が披露され

午後二時にタイの国と式典での式次第の説明の後、午後二時より式典が開催された。この日病院は休みで、式場には前マヒドン大学歯学部長 Prof. Dr. Somsak をはじめ歴代の歯学部長が前列に、その二列目に現在の歯学部の教授、三列目に海外からの招待者が並んだ。左右両脇には病院のフアカルティ、学生が整列した。マヒドン大

午後一時前にセキユリティーチェックを受け、病院四階の記念式典会場に入室。会場内での注意と式典での式次第の説明の後、午後二時より式典が開催された。この日病院は休みで、式場には前マヒドン大学歯学部長 Prof. Dr. Somsak をはじめ歴代の歯学部長が前列に、その二列目に現在の歯学部の教授、三列目に海外からの招待者が並んだ。左右両脇には病院のフアカルティ、学生が整列した。マヒドン大

午後三時よりパネリストとしてトルコの Asst. Prof. Dr. Cugdas Kisaoglu が「Clinical application」について講演した。

午後五時からは病院の八階で歓迎のレセプションが開催された。タイの民族舞踊が披露され

## 歯内療法 レボリューション

CBCTとマイクロスコプの臨床応用

北村 和夫 編著

CBCT&マイクロスコプの併用が臨床を変える！  
歯内療法の新たな羅針盤となる一冊！！

CBCTで正確に診断し、マイクロスコプ下で精密な治療を行う。最新の歯内治療をめざす歯科医師の指針となる一冊です。

■ A4判変型 / 194頁 / カラー  
■ 定価 (本体 10,000円+税)

医歯薬出版株式会社  
https://www.ishiyaku.co.jp/ TEL. 03-5395-7630 FAX. 03-5395-7633

## 第124回 日本解剖学会総会 全国学術集会

The 124th Annual Meeting of The Japanese Association of Anatomists

会期: 2019年3月27日(水)~29日(金)  
会場: 朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター  
会頭: 影山 幾男 (日本歯科大学 新潟生命歯学部 解剖学第1講座 教授)  
副会頭: 笹川 一郎 (日本歯科大学 新潟生命歯学部 先端研究センター 教授)  
石山 巳喜夫 (日本歯科大学 新潟生命歯学部 解剖学第2講座 教授)

日本解剖学会 来年三月新潟で開催

わが国の医学系学会では、最古の歴史をもつ日本解剖学会の第一二四回総会が、二〇一九年(平成三十一)の三月に、新潟市中央区の朱鷺メッセで開催される。

本学新潟生命歯学部解剖学第一講座の影山幾男教授が会頭、笹川一郎教授と石山巳喜夫教授が副会頭。メインテーマは「解剖学の原点回帰」。

一八九三年明治二十六年に創立された日本解剖学会の総会は、新潟での開催は三回目、歯科大学では二回目となり、ここ十年の演題数は、毎回六七〇題に及んでいる。

解剖学の原点回帰

演題募集期間(予定) 2018年9月14日(金)から 2018年11月16日(金) 事前参加申込期間(予定) 2018年9月14日(金)から 2019年1月25日(金)